



国際ロータリー第 2670 地区

高松西ロータリークラブ

The Rotary Club of Takamatsu West



Weekly Report 2015-2016

創立 1969年4月14日
 承認 1969年4月23日
 チャーターナイト 1969年11月9日
 発行 I T・広報委員会

会長 古低 敏 弘
 幹事 家田 陽 介
 会長エレクト 鏡 良 則
 副幹事 村上 上 憲
 S.A.A 加藤 藤 和 理



今週のプログラム	第 2263 回	1 月 29 日
フォーラム: 職業奉仕(シェルドンの森-②) 職業奉仕委員会		
担当者	職業奉仕委員会	例会場
		JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2262 回	1 月 22 日
卓話: 「ロータリー財地区補助金申請について」 ロータリー財団委員会		
担当者	ロータリー財団委員会	例会場
		JRホテルクレメント高松



古家会長報告



低田幹事報告



卓話「ロータリー財団 地区補助金の使い道について」木内委員長



会長報告

- ・国際協議会でジョン・ジャームRI会長エレクトが次年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」を発表しました。
- ・水戸南RCより10名くらいお越しいただく予定です。前夜に懇親会も開催しますので、大勢でお出迎え出来たらと思っています。

幹事報告

- ・5月30日にソウルにて囲碁の世界大会も開催されるようです。
- ・1月30日(土)にさぬきRC主催のI・Mが開催されます。車で行かれる方は、車内に「駐車許可証」を掲示してください。

ビジター

高松RC 新井 裕史 様
 高松北RC 矢野 年紀 様 坂本 厚子 様

メイクアップ

1月14日 観音寺RC 大西 1月18日 高松北RC 藤田

卓話「ロータリー財団 地区補助金の使い道について」

- ・木内ロータリー財団委員長
各テーブルでディスカッション後、発表
 1. 継続事業として「郷東町のグラウンド芝生化」
 2. サンさんが入会されたこともあり、井戸掘り等チャーマーでの支援事業
 3. 毎年、香川県は交通死者ワースト上位なので、小学生などと交通安全の啓蒙
 4. 学校と子供たちの関係を良くなるように(丸亀にはサポート隊もある。)
 5. グラウンド芝生化など継続してやっていけるもの
 6. 増えてきている高齢者の買い物難民への支援
- ・磯崎職業奉仕委員長
次週の職業奉仕のフォーラムとして、職業を通じて社会奉仕をしてきたためにはをディスカッションしたいと思います。皆様の事業として取り組まれていることを発表してもらいたいです。

1月29日 今日は何の日	今日生まれの有名人名
タウン情報の日・人口調査記念日	1953年 テレサ・テン 1943年 ちばあきお
1872年 初の全国戸籍調査実施	1950年 宮下順子 1866年 ロマン・ロラン
1957年 昭和基地初設営	1948年 毛利衛 1860年 チューホフ
誕生花	シンビジウム(別名 グレース・ケリー)、花言葉は「深窓の令嬢」
誕生石	トルマリン(tourmaline)、宝石言葉は「素直な心」

<p>それでこそロータリー</p> <p>どこで会っても やあと言おうよ</p> <p>見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ</p> <p>遠いときには 手を振り合おうよ</p> <p>それでこそ ローローロータリー</p>

例会場 JRホテルクレメント高松
 高松市浜ノ町1番1号
 TEL(087)811-1111

例会日: 毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)
 今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのacroバトリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2015pdf/01-29.pdf>

事務所
 高松市西の丸町10-15
 高松ホテル旅館料理協同組合内
 TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

例会スナップ



例会変更

- 1月27日(水) 高松南RCは職場訪問例会「チョウザメの養殖」東かがわ市引田町に変更
- 1月27日(水) 普通寺RCは普通寺消防本部(職場訪問例会)に変更
- 2月 2日(火) 高松東RCは休会
- 2月 5日(金) さぬきRCは1月30(土)香川第一第二分区合同IMに変更

ニコニコBOX

遅刻	2件
合計 2 件	
本 日 の 合 計	1,000円
2015-2016年度累計	864,000円

出席報告

出席委員長: 鈴木雅博

会 員 数 /	52名	出席規準数 /	49名
出席者数 /	27名	欠 席 者 数 /	22名
出席率 /	55.10%	ビ ジ タ ー /	3名
最終出席率 /	1月8日	76.00% →	84.00%

人類に奉仕するロータリー



2016-2017年度 国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム

人類に奉仕するロータリー

111年の歴史の中で、ロータリーは多くの人に多くの意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びとの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をしてきました。毎週、世界34,000以上のクラブのロータリアンが、語り、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためです。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると、私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体も、ほかにありません。ロータリーには、世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

現在、ロータリーはとてども大事なきを迎えています。今はいろいろな意味で今後を決定づける歴史的な節目です。私たちは力を合わせ、世界に重要な奉仕を行ってきました。そして、今、世界の行く末は、私たちのさらなる奉仕にかかっています。世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために、固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ、勢いをつけてロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍するときが来たのです。

ポリオ撲滅から私たちが学んだ多くのことの中で、最も大切なが最もシンプルなこと、それは、ロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならないということです。クラブ、地区、RIのレベルにおけるリーダーシップの継続は、ロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。

ポール・ハリスは晩年、ロータリー設立の経緯について振り返り、次のようにつづっています。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」。いつの日か120万人以上のロータリアンが一体となり、ロータリー財団や各自のリソースを駆使して人類への奉仕に取り組むことになるとは、ハリスも想像しなかったでしょう。そのようなロータリーに対してハリスがどんな奉仕を期待するのか、私たちは想像するしかありません。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を授けられた私たちには、このような奉仕を行っていく責務があるのです。

心を込めて



人類に
奉仕する
ロータリー

次週のプログラム

第 2264 回

2 月 5 日

卓話:「海外のビジネス現状について」金光会員

担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松
-----	----------	-----	--------------